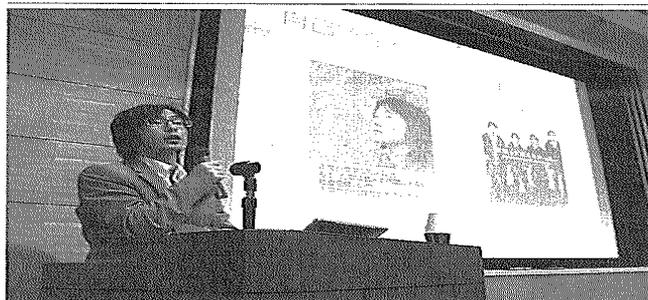




いくぶん暑さもやわらいでまいりました。夏の疲れが出やすい頃ですが、みなさまお変わりありませんか。今回は、8月に開催しました講演会の様子や、ご遺族のメッセージをご紹介します。

『平成 23 年度自死遺族支援講演会』を開催いたしました

8月12日、県立大学にて、「大切な人を自殺で亡くす子どもたち～遺児への理解と対応」という題で、NPO 法人自死遺族支援ネットワークRe代表の山口和浩さんにご講演いただきました。当日は、医療・福祉・行政・教育関係者 200 名以上が参加され、中にはご遺族でもあるという方もおられ、熱心にお話に聴き入っておられました。遺された子どもたちへの適切な情報提供と、“遠慮ではなく配慮する”という関わりが必要とのお話が、特に学校の先生方にとって大きなメッセージとなったようです。また、アンケートでは、参加動機として「これから支援にたずさわる可能性があるから」を挙げた方が最も多く、ひとりひとりが自死について身近なこととしてとらえていることがわかりました。今後も、さまざまな方面への啓発に努めていきたいと思えます。



自殺者の遺族支援について講演する山口和浩さん
＝熊本市の県立大

自殺者遺児に支援を

県立大 NPO 代表が講演会

自殺者の遺族支援を「さん(30)＝横浜市」が、遺児に対する支援を考える講演会が12日、熊本市の県立大であり、NPO 法人「見死」代表の山口和浩さんが、遺族支援ネットワーク「Re」代表の山口和浩さんの時に父親を自殺で亡くした。2006年にNPOを設立し、自殺者の遺族の集いを開くなどの活動に取り組んでいる。

講演では、自殺防止や遺児の支援のために「学校教育の中で自殺の問題について考えるアプローチが必要」と指摘。「生活の安定が心のケアにつながる」「配慮は必要だが、遠慮しすぎてはいけな」などの注意点を挙げた上で「充実した支援体制が必要」と訴えた。

(小林義人)

8月13日の熊日新聞に掲載されました(上)。同日の朝日新聞にも掲載されました。

ご遺族からのメッセージ

7月28日の“かたらんね”には、6名のご参加がありました。メッセージをご紹介します。

今回も初めて参加された方が多く、いろいろなお考え、ご意見をお聞きして脳に良い刺激になりました。初めて参加された方が増えることも良いことだと思いますが、以前お会いした方が参加されていないことも気がかりです。お元気で過ごしていられるといいのですが。

常に感じている孤独感から、少しずつ救われていく気がします。伝えることの難しさ、大切さを、あらためて考えました。

“かたらんね”が熊日に紹介されました（8月16日付）

（第3種郵便物認可）

自殺者遺族に心の居場所を

家族を自殺で「くたした」「自死遺族」への支援が県内でも広がりつつある。悩みを誰にも打ち明けられず、社会的孤立を強いられている遺族が、思いを語り合うグループミーティング。県精神保健福祉センター、NPO法人に続き、熊本市も本年度から取り組みを始め、安心して集える心の居場所を遺族に提供している。

県精神保健福祉センターのグループミーティングを準備する様子。熊本市も同形式で行われる。



熊本市もスタート グループで語り合い

熊本市のグループミーティングは偶数月の第3木曜日午後2時、大江の市総合保健福祉センター・ウェルパルクまもろで開催。6月に始まり、2回目が今月18日に予定されている。

全国の自殺者数は2

国の自殺総合対策大

に苦しんでいる。

重要。息の長い活動を

続けたい」という。

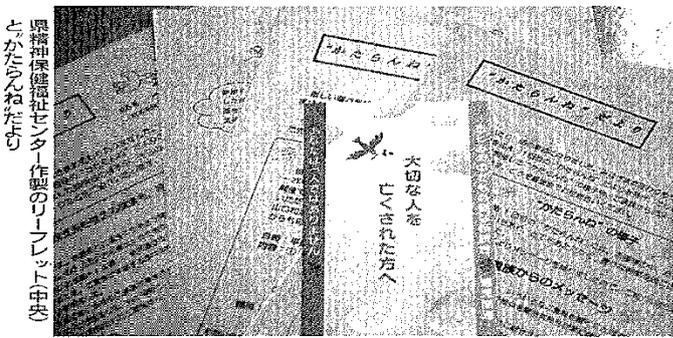
2008年に始まった

県精神保健福祉セン

ターの集いは「かたら

んね」（「参加しませ

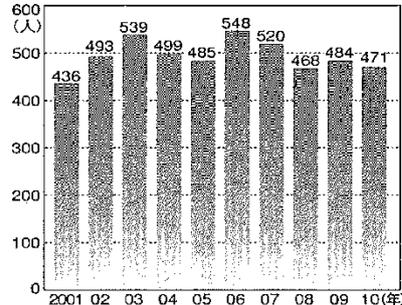
んか」「語りませんか



県精神保健福祉センター制作のリーフレット中央

に「かたらんね」が

過去10年間の県内自殺者数（県警集計）



▽県精神保健福祉センター ☎096(386)1166。個別相談も受け付ける
▽熊本市障がい保健福祉課精神保健福祉係 ☎096(328)2313
▽「ウィメンズ」 ☎096(381)8831。参加費1000円。

網の中でも遺族支援は重点施策の一つ。「安心して悩みや苦しみを話せる場にした」と市障がい保健福祉課の上杉幸係長。初回参加者は1人だったが、「その場があることが重要。息の長い活動を続けたい」という。

同じ体験をしているから、分かり合える安心感。「少し気分が軽くなったような気がする」「今、自分が生きている意味、これからの生き方が分かった」と、参加した遺族からは、こうした感想も寄せられている。

「苦みも悲しみも共有する」と、一人ではないことを感じてほしい」と保健師の前川雅之さん。心理士の増永郁恵さんは、苦しみや軽減した人の話を聞くことは、前に進むヒントにもなる、と参加を呼び掛ける。民間で取り組んでいるのはNPO法人「ウィメンズ・カワセリングループ熊本」。毎月第3日曜日午後2時半、同市水前寺の法人事務所で開催。竹下元子理事長は「再出発の道を探る場にしてほしい」と話す。（本由 提供）

あとがき

担当の増永です。講演会やかたらんねのことを新聞に取り上げていただいたので、関心を持たれる方や参加される方が増えるのでは・・・と期待しています。メッセージにもありましたが、新しい方も、一度参加された方も、お会いできることを楽しみにしています。

次回の“かたらんね”開催予定

【開催日】H23年9月22日（木曜日）
【時間】14時～16時
【場所】熊本県精神保健福祉センター
2階 セラピールーム

※事前予約は不要です。
当日会場へお越しください。
【お問い合わせ先】 096-386-1166